

研究員 山口栄蔵氏を悼む

研究員山口栄蔵氏は昭和五〇年八月二四日、病氣療養中の自宅で逝去された。享年七二。

氏は明治三五年甲府市に生れ、第四高等学校を経て、昭和三年東京帝国大学経済学部経済学科を卒業。昭和六年まで同大学院で本位田祥男教授の指導のもとに経済史を専攻した。

昭和六年、この年に創立された社会経済史学会の会務および機関誌『社会経済史学』の編集を担当、昭和一四年に及んだ。その間、上智大学専門部講師（経済史担当）、青淵先生伝記資料編纂嘱託、法政大学経済学部講師（日本商業史担当）などを兼ねた。

昭和一四年五月、三井文庫（三井合名会社所属）職員となり、とくに戦時下の困難な状況のもとで神奈川県大磯・山梨県東山梨郡神金村への疎開など、同文庫史料の保全に尽力された。

戦後は三井文庫の施設を買収して設立された文部省史料館に文部事務官として勤務、昭和三三年東京大学経済学部講師を兼ねたが、同三六年一二月文部省を退任、財団法人三井文庫の設立準備に当り、同四〇年五月創立とともに専任研究員となり逝去の日に及んだ。

戦前戦後にわたる三〇余年の永きにおよんで、三井文庫史料の蒐集、整理および保全に尽粋された氏の労に感謝するとともに冥福を祈る。

（館長 中井信彦）

故山口栄蔵氏著作目録

著書

三井家御東幸御用記録 第一卷（三井高陽編）

昭和一七年八月 国際交通文化協会

論文・他

関西鉄道会社始末

昭和一四年一〇月

『交通文化』第八号

吹田勘十郎渡欧日記抄

—三井銀行史話—

昭和三年二月

『三井銀行調査月報』二四七号

三井家大元方勘定目録について

昭和三年一月

（社会経済史学会例会報告）

枝手形に就て

昭和五年一月

『具体例による歴史研究法』吉川弘文館

三井八郎兵衛高利記「諸法度集」について

—延宝期江戸呉服店の店式目—（三井礼子氏共稿）

昭和四年三月 『三井文庫論叢』創刊号

「宗寿居士古遺言」と「宗竺遺書」（三井礼子氏共稿）

昭和四年三月 『三井文庫論叢』第三号

幸田先生の思い出

昭和四七年五月

『幸田成友著作集』月報六

他に富山書房『国史辞典』・平凡社『世界大百科事典』などの項目執筆多数